

幼き日の思い出

今回は介護棟の入居者様に『幼き日の思い出』を回想して頂きました。

「まりつきやお手玉」

Kさん
〈台湾〉

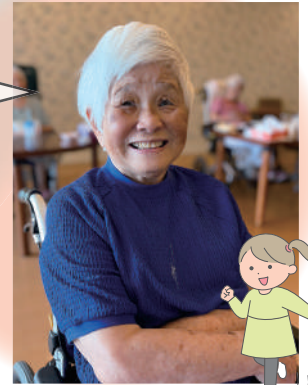
終戦まで台湾の日本人学校に通っていたよ。そこで日本人同士で「まりつき」や「お手玉」をしたね。台湾は食べ物で沢山で美味しかった思い出もあるよ。



「グラウンドでケンケンパ」

Hさん
〈那覇市首里〉

師範学校付属小学校のグラウンドで「ケンケンパ」をよくやった。下手だったけど楽しかったよ。その後は熊本に疎開したよ。



「おじいちゃんと魚釣り」

Mさん
〈サイパン〉

「チャランカ小学校」に低学年まで通っていたよ。きれいな海で「ウニ」を採って食べたり、おじいちゃんと魚釣りをしたりと、今考えると豊かな食生活だったね。



「近くの海で泳ぎを覚えた」

Mさん
〈北谷町桑江〉

要らなくなった台所用品を集めてママゴトをやったよ。又、体を動かす事が大好きだったから近くの海へ出かけて自己流で泳ぎを覚えた。とっても楽しかったよ。



「本を読むのが好きだった」

Mさん
〈嘉手納町兼久〉

当時は田舎だったけど今は色々な施設があるみたいね。とても大人しい子で家で本を読むのが好きだった。女学校に憧れていたから、小学校五年生から勉強を始めたけど、戦争が始まり受験する事が出来なくなっって諦めた。今でも悔しくて残念に思う。



「いたずら好きだった」

Iさん
〈宜野湾市宇地泊〉

元気な子でいたずら好きで周りの友達をよく笑わせていたよ。お父さんから「勉強しなさい」と言われ、いっぱい勉強して女学校へ入学できたよ。

